

平成 22 年度 関東支部運営委員会（第 2 回） 議事録

- ・日 時：平成 22 年 7 月 15 日(木) 14：00～16：50
- ・場 所：JGS 会館 3 F 中会議室
- ・出席者：太田、田矢、赤木、小椋、末岡、菊池、佐藤、高橋、伊藤、吉嶺、若井、橘、沓澤、
清木（西村代理）、青木(事務局)
- ・欠席者：金尾、東畑、瀬古、石原、國生、岸田、重村、松島、後藤、清水、荏本、王、玉手

1. 前回議事録（5/20）の確認

第 1 回運営委員会議事録について確認を得た。

2. 今期の体制（変更について）

1) 評議員交代について

下表に示す 3 氏より退任の申し出があり、後任者については推薦を頂いた各氏を次会評議員会に諮ることで承認を得た。

退任申し出者	推薦を頂いた後任者
三原 正哉氏 (株)ハザマ 技術研究所)	三反畑 勇氏 (株)ハザマ 技術研究所) (現：研究委員会 G 幹事)
西村 高明氏 (メトロ開発(株)技術部長)	野焼 計史 (のやき かずふみ) (東京地下鉄(株) 鉄道本部改良建設部長)
増田 達氏 (東日本旅客鉄道(株))	清水 満氏 (東日本旅客鉄道(株) J R 東日本研究開発センター)

2) 支部推薦代議員について

当支部推薦で代議員となった独立行政法人に所属する 2 名の方が、所属機関として委嘱が受けられないため、個人として代議員をお引き受けいただけることになった旨、報告された。

3. 今年の年間スケジュール

現時点で確定している下記の行事日程を報告した。

第 45 回地盤工学研究発表会：平成 22 年 8 月 18 日（水）～20 日(金)

第 1 回評議員会：平成 22 年 10 月 20 日（水）

Geo-Kanto2010：平成 22 年 11 月 4 日（木）～5 日(金)

【参考】本部臨時総会の開催（公益法人認定後 2 ヶ月以内、認定される日不明）

4. 本部からの連絡・検討依頼事項

(1) 広報委員会「文京区夏休み親子理科教室」

前回運営委員会において次年度から支部行事に引き継ぐことを検討課題とした、本部広報委員会が毎年実施している文京区行事の今年度開催予定が紹介され、企画総務 G より幹事が参加し状況を視察する予定であると報告があり、承認された。

(2) 学会からの対外発表に関する現状調査のお願い

本部からのアンケート調査依頼について、前回運営委員会において頂戴した意見も反映の上、回答した内容について報告があり、承認された。

5. 支部からの周知・連絡事項

(1) H22 年度予算執行状況 (6 月末現在)

6 月末現在の本年度予算執行状況について報告があり、承認された。

6. 開催結果、進捗状況の報告

(1) 後援：日本地すべり学会「新技術を用いた空（宇宙）からの地すべり地形把握と解析」
支部後援行事として、6 月 18 日（金）に開催済みとの報告があった。

(2) 案内：群馬大学「広域首都圏防災研究センター設立記念シンポジウム」
会員からの行事案内配信依頼について、支部長承認を得てメーリングリスト配信実施。
同行事には、大変多くの参加者が得られたとの報告があった。

(3) 特別講演会「東京スカイツリーの構造設計について」
好評のため 2 回目の開催となる企画総務 G 管轄行事の案内。

(4) 運営委員会メール審議承認報告：千葉県 G 現場見学会
千葉県 G 見学会開催について、日程上の都合で運営委員会メール審議を行った結果、承認となった経緯について報告があった。

(5) 千葉県 G 「東京外かく環状道路（外環）千葉区間の見学会」のご案内
前項で承認された千葉県 G 見学会の案内文。

(6) 関東支部行事申込締切のお知らせ

(3) 項、(5) 項の 2 行事について、案内配信後短期間で定員となったことの報告があった。

(7) 栃木県 G 「栃木県高瀬トンネル建設事業に関わる現地見学会」のご案内
栃木県 G 見学会の案内について報告があった。

(8) 協賛依頼：全地連「地質リスクマネジメント事例研究発表会」
標記行事について全地連からの協賛依頼について、支部長の決裁で承諾したことの報告があった。

(9) 講師派遣依頼：「地質リスクマネジメント事例研究発表会」
前項行事について、全地連よりリスクマネジメント研究委員会伊藤氏宛の講師派遣依頼があり、承認された。

(10) ニュースレター No. 20 6 月に発行済み
6 月に発行したニュースレターが委員に配布された。

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービス G 【別紙-14】

今年度の行事計画について報告

アフター 5 計画行事に、Geo-Kanto で企画総務 G が予定している行事と類似した計画があり、本日重村幹事欠席で内容の確認ができないため、調整の要・不要については、追って事務局より確認する。

(2) 茨城県 G

高校生向け冊子は太田支部長、末岡オブザーバーの査読意見を得てほぼ完成版となり、印刷・配賦方法の検討中。「つくば研究所めぐり」は、11 月末か 12 月開催を予定し、候補を選定中であるとの報告があった。

(3) 栃木県 G

今年度の事業予定について報告があり、県G運営委員会の新メンバーに対し、支部から委嘱状を発行する旨、承認された。

(4) 群馬県 G

「椎坂トンネル現場見学会」の予定について報告があった。

高崎市市制 110 周年記念「土木・建築フェア 2010 in たかさき」への参加要請に応え、出展する予定であることが報告された。

(5) 山梨県 G

「中部横断自動車道の醍醐山トンネル工事等の現場見学会」の開催予定が決まり、案内文の原案について承諾を得た。

(6) 千葉県 G

「東京外かく環状道路（外環）千葉区間の見学会」の予定について報告があった。

新事業の企画についての検討状況が紹介され、出席委員よりアドバイス等が述べられた。これをもとに、県Gで企画の検討を進めることとする。

(7) 埼玉県 G

（支部発表会の項参照）

(8) 神奈川県 G

「神奈川的地盤」編者を「神奈川県グループ」とすることについて了解された。

(9) 研究委員会 G

各研究委員会の活動状況について報告された。

製作中であった「造成宅地耐震」のパンフレット原稿が紹介され、配布先、配り方などを考慮して印刷部数等を設定する方針について了承された。

「BCP研究委員会」成果に関する千葉県での報告会について、参加者に対するアンケート結果を含めた開催結果が報告された。

「リスクマネジメント」研究委員会から申し入れていた地盤工学会誌の講座テーマへの採用が決定し、平成 24 年 10 月から掲載される予定となった旨、報告された。

今年度新設された「広域地盤隆起」研究委員会と「薬液検討会」の委員名簿が報告された。

今年度新設を予定していた委員会のうち、「ハザードマップ」に関して準備が整わず見送りとなった旨報告され、今年度途中からでも活動が可能な新規研究委員会について追加公募を行ってはどうかとの意見があり、研究委員会Gにて検討を進めることとなった。

(10) 支部発表会 G

Geo-Kanto2010 の実施スケジュール等について報告され、了承を得た。

優秀発表賞については、対象年齢を「30 歳未満」から「35 歳以下」に変更する方向。

DSについては研究委員会Gに運営方針を一任とし、各研究委員会の活動報告をまとめた一つのセッションとして実施する方針が了承された。

若手交流セッションを設け、企画総務Gに運営方針を一任することが了承された。

セッションの時間割りについては、細部の詰めを今後行う予定。

関東地方整備局への協力要請については、太田支部長、菊池幹事長の協力を得て実施を予定。

(11) 企画総務 G

関東支部メーリングリスト配信リストについて、標準的なテンプレートを作成中であることを報告。

行事メールについては、地盤工学会以外の複数のチャンネルも使って同時に配信されるものがあり、

参加希望が殺到するような人気行事においては、申込みチャンスの平等性を確保する必要があるとの意見があり、配信のタイミングに関する希望にも配慮することとする。

東京都内での地域に根差した活動の推進について話題提起し出席委員の意見を求めたところ、自治体とタイアップした活動を行っている大学などの情報を得て、地域とのルート作りを進める必要がある等の意見があった。

8. その他

(1) 退会・級変更届提出特別会員

1 会員より 3 月末付けで退会の申し出があったことを報告。

(2) 関東支部運営委員会活動に関するHPについて

支部HPに、運営委員会の活動を掲載していなかったため新設することとし、掲載イメージ案を確認し、了承を得た。

(2) 次回（第3回）運営委員会予定日 平成22年9月16日（木）14：00～17：00